

癌化学療法輸液約束処方 急性骨髄性白血病

癌種 急性骨髄性白血病

レジメン名 AML3 寛解導入法

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量(75歳以上)	投与経路	投与時間	投与日(75歳以上)	1クール期間
キロサイド	シタラビン	Ara-C	100mg/m ² (80mg/m ²)	div	24時間	DAY 1-7	
ダウノマイシン	ダウノルビン塩酸塩	DNR	50mg/m ² (40mg/m ²)	div	30分	DAY 1-5(D1-3)	

【DAY 1】

- ① NS 100 ml + アロキシ0.75mg / 全開
- ② NS 500 ml + キロサイド mg / 24時間

【側管】②の側管から

- ③ NS 50 ml / 全開
- ④ NS 100 ml + ダウノマイシン mg / 30分
- ⑤ NS 50 ml / 全開

【DAY 2~5】

- ① NS 500 ml + キロサイド mg / 24時間

【側管】①の側管から

- ② NS 50 ml / 全開
- ③ NS 100 ml + ダウノマイシン mg / 30分
- ④ NS 50 ml / 全開

【DAY 6】

- ① NS 500 ml + キロサイド mg / 24時間

【DAY 7】

- ① NS 500 ml + キロサイド mg / 24時間
- ② NS 50 ml / 全開

< 備考 >

- ① 総コース数は 2コースまで。
- ② 高齢者は キロサイド80mg/m² ダウノマイシン40mg/m²(Day1-3)に減量する。
- ③ 休薬期間は患者の状態(効果・副作用)に応じて医師の判断で変更可能
- ③ 投与初期:シタラビン症候群(発熱、筋肉痛、骨痛、斑状丘疹性皮疹、胸痛など)の発現に注意。
- ④ 投与中期:シタラビン中枢神経障害(言語障害、運動失調、傾眠、白質脳症など)注意。

w